

君はどんなドライバーになりそう？

「子どもらしい」という言葉で済ますわけにはいきません。なぜなら、このまま大人になったら周りに迷惑や不快感を与えることになるかもしれないから。「中学校は社会に出るための勉強をするところ」ということを今一度考えてみてください。

今朝気になったのは、駐輪場です。玄関からも近く、学年ごとに分けされたカーポート形式の大変利用しやすい北中の駐輪場です。しかし現在、乱雑な自転車の並びように目を覆いたくなる状態です。

比較的時間の余裕をもって登校できているにもかかわらず、そういう状態であるということは、急いでいたからではなく、整然と並べようという気がないと思えません。「乗り捨て」と呼ぶに近い停め方がされている自転車もあります。

興味深いのは、乱雑に並んだ自転車は一年のスペースに並んだものが多いこと。二年、三年と学年が上がるにつれて並べ方が気にならなくなっているのは、大人としてのマナーが身につけているからだ。私は信じています。

車のドライバーには、駐車の手手な人が必ずいます。白線が引いてあるにもかかわらず、何度も入れ直している車をたまに見かけます。私はそういう車を見るたびに、自分の車が余計なプレッシャーとならないように、多少時間がかかってもその車から距離をとって待つようにしています。運転しているのが初心者であっても老人であっても同じです。整然と並べようとしている人を応援するつもりで待っています。

それとは対照的に、一回で駐車をする人がいます。しかし、こういう人の中には、白線無視(時には白線をまたいでいることも)、斜め駐車(これをすると、隣に駐車している車が大変出にくくなります。)など、自分のことしか考えていない停め方をするドライバーもいます。私は、そういう車に対しては、関わりたくないなので近くには停めないようにしています。

駐輪場には白線はありませんが、白線があると思って整然と並べましょう。そうすると、下校時にもスムーズに自転車が出せると思いますよ。今の状態だと、「この後ろの自転車はだれのだ?」「じゃまだなあ!」という声が飛び交ったり、自転車が将棋倒ししたりするかもしれません。

将来のドライバーになる生徒の皆さん、あなたは数年後、どんなドライバーになるのでしょうか。周りから冷たい視線を浴びるような、自分勝手なドライバーにはならないようにしてくださいね。

職員駐車場を見てください。どの車も整然と並んでいるでしょ。三月に免許を取ったばかりのS先生も、白線の間にまっすぐ止めています。頑張って練習した成果です。

